

## 甲賀市レッドリスト 2012 爬虫類

### ◇ 甲賀市の爬虫類（爬虫類相および地理分布の特徴, 解明度）

- ・ 甲賀市の爬虫類については, 整理された文献はないが, みなくち子どもの森自然館のデータベースでは, 市内で 16 種の爬虫類が記録されている (未発表) . 甲賀市水口町の丘陵地にある, みなくち子どもの森園内ではカメ類 (カメ目) 2 種, トカゲ類 (有鱗目トカゲ亜目) 3 種, ヘビ類 (同ヘビ亜目) 7 種の爬虫類が確認されている (河瀬ほか, 2010) .
- ・ 甲賀市の爬虫類の分布について, 詳細な調査はなされていないが, 現在までの知見を基にした概要を以下に述べた.
- ・ カメ類はニホンイシガメ, クサガメ, ミシシippアカミミガメ, スッポンの 4 種が記録される. 市内に広く見られるのはニホンイシガメであり, ほぼ全地域に生息する. 市内中央部の丘陵地の溜池に多く生息しており, 近隣の水路, 水田などで見られることもある. しかし, 丘陵部に幅が広い道路が敷設され, コンクリート側溝が普及する等によって生息環境の分断・孤立が起きており, 市街地や住宅地, 工業団地内の溜池には見かけなくなった. また, 特定外来種のミシシippアカミミガメが市内に侵入を始めており, 野洲川のワンド, 市街地付近の溜池で姿を見る機会が増えた. スッポンは水口町内の野洲川で複数の記録があり, クサガメは野洲川沿いの水田地域の側溝で確認された記録が 1 例ある.
- ・ トカゲ類は, ニホンヤモリ, ニホントカゲ, カナヘビの 3 種が分布する. ニホンヤモリは市内の各市街地・住宅地を中心に確認されている. ニホントカゲは市街地付近の石垣から, 鈴鹿山脈, 信楽山地の岩礫地まで広く分布するが, 分布記録は少ない. カナヘビは市内全域の農村部の草むらなどに普通に見られ, 個体数も少なくない.
- ・ ヘビ類では 9 種が生息する. 市内に広く分布するのは, アオダイショウとシマヘビで, 丘陵地の農村部や住宅地の辺縁では最も普通に見られる. ただし, 住宅の近代化によってアオダイショウが人家に生息することは稀になったと思われる. 市中央部の丘陵地帯や水田周辺の環境を中心に, ヒバカリ, ジムグリの記録は広く散見される. ヤマカガシは鈴鹿山脈と信楽山地を中心に生息しており, 丘陵部ではほとんど記録がない. シロマダラの記録は少ないが, 水口町, 甲南町の丘陵部と信楽町に記録がある. タカチホヘビは土山町の山間部の記録があるのみである. ニホンマムシは, 丘陵部から鈴鹿, 信楽の山地まで市内に広く生息するが個体数は少ない. 野洲川沿いに水口町の市街地付近で見られる場合がある.

### ◇ 甲賀市レッドリスト 2012 爬虫類 掲載方針

- ・ 甲賀市レッドリストでは, 市内に分布する爬虫類を評価対象とした.
- ・ 2007 年のレッドリスト策定後は, 計画的な市内の爬虫類調査は実施されていないが,

生き物観察会や有志の方らを通じて、市内の爬虫類についての情報が自然館に収集されており、その結果を改訂レッドリストに活用した。

- ・ カテゴリー定義：「絶滅種」は過去に生息したが、現在は見られない種。「絶滅危惧種」は、市内に数カ所以内の生息地、繁殖地。「絶滅危機増大種」は生息地が少ない。生息域が限定される。もしくは減少度合いが著しい。「要注目種」は情報不足のため、上記分類群に入る可能性が高いが決定できないもの。良好な環境に生息する指標種で注目が必要な種など。「地域種」については、甲賀市付近に特徴的な分布をする種や、市内に特有な形態や遺伝の型が分布する種、市内の環境を特徴づける種を選定した。市内に広く分布し親しみ易いというだけでは掲載しないこととした。
- ・ 外来種については、本来はブルーリスト（或いはブラックリスト）として別に扱うべきであり、対象としなかった。

#### ◇ 甲賀市レッドリスト 2012 爬虫類 掲載種の概要

- ・ 各カテゴリー掲載種数（甲賀市レッドリスト 2007 と比較）は以下表のとおりであった。

**表. 甲賀市レッドリスト 2012 爬虫類 掲載種数**

＼	2012 種数	2007 種数	増 減	備 考
絶滅種	0	0	0	
絶滅危惧種	0	0	0	
絶滅危機増大種	0	0	0	
要注目種	8	9	-1	
地域種	1	3	-2	地域種の定義を変更
(合計種数)	9	12	-3	

- ・ 掲載種は、要注目種ではニホンスッポン、ニホントカゲ、タカチホヘビ、ジムグリ、シロマダラ、ヒバカリ、ヤマカガシ、ニホンマムシの 8 種で、地域種はニホンイシガメが指定された。

#### ◇ 甲賀市レッドリスト 2007 爬虫類からの変更とその理由

- ・ 要注目種 8 種（前回 9 種）では、前回 9 種のうち 8 種が同じ要注目種に留まった。ミシシッピアカミミガメは外来種であるため除外した。
- ・ 地域種 1 種（前回 3 種）では、前回 3 種のうち、地域種の定義を見直した点から、アオダイショウとシマヘビがリスト外に移った。

#### ◇ 今後の対策・留意点

- ・ 生息種の半数以上がレッドリストに掲載されたことは、爬虫類の餌となる昆虫類や両生類等の小動物が減少するなど生息環境の悪化を示している。しかしながら、爬虫類で絶滅危惧種と絶滅危機増大種が指定されなかった原因として、カメ類以外は完全な陸

生であり、両生類のように繁殖場所や生息場所が水辺に限定され難いこと、ヘビ類やトカゲ類は森林や草地環境が広い市内では、生息環境が悪化しても、生存自体が困難ではないことなどが考えられる。

- ・ タカチホヘビ、シロマダラ、ジムグリの地中性ヘビ類は確認が困難であることから、生息状況を把握することが難しく、情報不足の面が大きい。今後の調査による成果を期待したい。
- ・ クサガメが水口町内で新たに確認されたが、今回は掲載の判断を見送った。

#### 【参考文献】

河瀬直幹・小西省吾・横山明子・西村淳子・新保建志（2010）みなくち子どもの森の爬虫類。みなくち子どもの森自然館(編), みなくち子どもの森年報告第5号（平成17～20年度）, 60-61.

甲賀市みなくち子どもの森自然館（2007）甲賀市レッドデータブック-守ろう!!甲賀の自然と生き物. 80pp. 甲賀市, 甲賀.

滋賀県（2011）滋賀県で大切にすべき野生生物-滋賀県レッドデータブック 2010. 584pp. 滋賀県, 大津.

#### 【策定メンバー 氏名（所属）】（敬称略）

新保 建志（甲賀市立中学校教諭）

河瀬 直幹（みなくち子どもの森自然館）